

# 【卒業生】2023年度 大学「外部評価アンケート調査」回答

2023.8.4

## 回答者

### 服飾学科

服飾学科からはモードは人数が多いので2名他のコースは各1名ずつ回答していただきました。

### 服飾表現学科

服飾表現学科はショープロデュース専攻と映像メディア専攻以外の3専攻から卒業生1名ずつ回答していただきました。

合計で卒業生は10名の参加となります。

## 質問回答

### 1. 自己紹介（業務内容）

#### ①株式会社銀座マギー アシスタントパタンナー

\*業務内容：先輩パタンナーのトワル組み・グレーディングパターンの作成、マーキングの作成・付属資材（芯地等）の選定・発注・発送

#### ②ソーイングアサヒ株式会社 縫製職

\*業務内容：婦人服縫製

#### ③個人で子ども服ブランド teddy♡me の運営

\*業務内容 ゆめかわいいをコンセプトにパステルでファンシーな子ども服ブランドの運営。個人で製作・販売を行っています。オンライン子ども服講座の運営。

#### ④スタイルテックス株式会社 企画営業職

\*業務内容

- ・自社工場生産したコート生地をアパレルなどに提案・販売
- ・別注の生地設計など
- ・ファクトリーブランド「EDOCOAT」の販売・企画など
- ・テキスタイル展示会への準備・参加（PTJやミラノウニカなど）

#### ⑤YORDA デザイナー：2021年に自身によってバッグブランド『YORDA』を立ち上げる。

\*業務内容 バッグのデザイン及び製作、販売

#### ⑥株式会社ビームス、販売職

\*業務内容 主に店頭での販売

#### ⑦MARK STYLER EC本部

\*業務内容：自社サイトのバナー制作、ブランド運営業務 など

#### ⑧・Sachi Costume：クラシックバレエの衣装の制作、発表会でのドレスサー

・unoa（株式会社リナモンド）：クラシックバレエのレッスンウェア（レオタードやスカート等）の制作

・Tiare Brilliante : クラシックバレエの頭飾りや装飾(モチーフ)の制作、発表会でのドレスサ  
ー

⑨有限会社リストラクト 店舗事業部

\*業務内容: 店頭接客、通販対応

⑩株式会社ファイブフォックス 販売職(スタイリスト)

\*業務内容: 洋服の販売、接客

## 2. 大学の授業について

### \*役立った授業と内容

\*授業科目名の内容として不足していて具体的に欲しかった内容や授業内容についての意見

### \*今後必要と思われる授業名と内容

①\*役立った授業と内容: 大学で役立った授業はドレーピング&パターンメイキングです。

私が入った会社では平面製図ではなくドレーピングでパターンを作成する為、この授業で学んだことが仕事をしていく上で役立っていると感じます。授業で購入した教材も会社に入ってから役立っています。またアパレル素材論と衣服材料学の授業で学んだ内容も仕事をしていく上で役立ちました。生地の種類は会社に入る前から学んでいる方が先輩に芯地の選定時に質問しやすかったです。衣服材料学の授業では洗濯できる素材かどうか、品質表示を決める上で役立っています。

\*授業科目の内容として不足していて具体的に授業を受けたかった科目や授業内容についての見: CAD パターンメイキングに関しては授業で使用したアパレル CAD と会社で使用しているアパレル CAD のメーカーが異なっていたためあまり役立ちませんでした。CAD で行うパターンメイキング・グレーディングの作業内容はどのメーカーの CAD でも共通なため授業内で理解できたと思います。

\*今後必要と思われる授業名と内容: 3DCAD(CLO やパターンマジック II 3D)が今後アパレル産業において重要なポジションになっていくと感じているため、これらのソフトの基礎が学べる授業があると良いと思います。

② \*役立った授業と内容: 【モードクリエーション1~4】スカート・ブラウス・パンツ・ジャケットの基本的な型を作る授業では縫い方、アイロンの仕方の基礎を学べた。また、裏地有の物は他の科目では学べないので表地とのくつき方を知ることができ、服の構成をよりの学べた。発展して自分のデザインを型にする授業では、興味のある技法を用いてデザインできるため制作の幅を拡げることができた。

【ドレーピング&パターンメイキング 1~4】ダーツの位置の意味や展開の仕方を学び、実際に自分の手でパターンを切ることで立体的に服の構造を知ることができた。

\*授業科目の内容として不足していて具体的に授業を受けたかった科目や授業内容についての意見: 襟、袖口、ポケットなど様々な種類があるパーツの部分縫いをして種類ごとの縫い方を学ぶ内容を取り入れて欲しい。(例ポケット:箱ポケット、両玉縁ポケット、スラッシュポケットの部分縫いなど)

\*今後必要と思われる授業名と内容: 私服製作、パターンメイキング、CAD などの検定取得に特化

した授業

③\*役立った授業と内容：CAD パターンの授業と感性産業デザインの素材とパターンの違いや縫製技術が学べた 事が今にとっても役立っています。

\*授業科目の内容として不足していて具体的に授業を受けたかった科目や授業内容についての意見：当時はあまり外部やアパレル起業の方と一緒にやる授業がなかったので、アパレル起業の方と様々な現状のリアルに触れながらやる授業があったらいいなあと思います。

\*今後必要と思われる授業名と内容：もちろん技術面の向上も大事だと思いますが、SNS 運用などの授業もあると SNS が重要な時代には必須ではないかな？と思います。

④ \*役立った授業と内容：

・画像設計演習→私の職場は小さい会社で、人も少なく若い人もいないため、SNS の運用や EC, HP の更新など一年目だが広告関連を任せてもらえることが多い。大学で少し illustrator や Photoshop を使えるようになっていたことで、わざわざ外注しなくてもいいような簡単な広告宣伝材料（ポスター、店舗のスライド動画、EC の画像など）は作れるため、そういった場面で少しだが会社をサポートできている実感がある。直接営業の仕事で売り上げにつながるわけではないが、今の会社では画像設計演習の授業で学んだことを自分でも意外なほど活かせる場面が多い。

しかし、初心者レベルのことしか分からない為、個人でやる分では気にならない点も細かく気にしなければならない。画質を機器に合わせて調節したり、HP に合わせて画像の大きさや色味を調節するなど、細かい部分分からないときはその都度調べている。画像設計演習と同じような科目として、コース必修（テキスタイルデザインコース）の3年次の画像表現演習の授業があったが、前期も後期もあったはずなのに初歩的なことはあまり教えてもらえなかったため、そこらは授業内容をもっと工夫していただき、せっかくだから1年かけて初心者～仕事の業務で使えるレベルまで網羅できるようにしていただきたいかと思う。

・素材分析実験→三年時に履修したこの科目だが、布をほぐして糸の一本一本を数えるなど作業が細かいうえにグループワークで研究・発表したりもして大変だったが、今振り返ると最も役立っていると思う。業務の間に思い出すことが多い。商業的な繊維素材は規格に対する検査基準も厳しく、その試験を自ら一度学校の授業でやったことがあるという点は、入社してから生地規格のことを学ぶ上で想像しやすくなり、経験しておいてよかったと思う。実際に生地を触るときには糸の番手や撚りの方向、素材の違いで風合いは全く異なってくるので、その差が何からきているのか実践して学べるのはとても有意義な良い授業だと思う。カケンへの見学授業も、テキスタイルはもちろん、アパレル企画の関係に就職した人は商品を企画するうえで必ず気にしなければいけない事項なので、テキスタイルデザインコースだけでなく、それ以外のコースの生徒も一度見学に行ったほうが良いと思う。

\*授業科目の内容として不足していて具体的に授業を受けたかった科目や授業内容についての意見\*今後必要と思われる授業名と内容：・機械織り・生地加工（テキスタイルデザインの授業など）杉野のテキスタイルコースの授業では織物は手織りの織機を使うことをメインとしているが、組織や構造を学ぶには自身で設計から染色、整経などを行い知識をつけられる点はとても役にたっている。しかし、産業の織物では手織りの工房などはごく一部でほとんどの場合、メーカーでも問屋でも機械織りなので、お金もかかるので難しいとは思いますが工場見学の頻度を増やすな

ど繊維業界でテキスタイルに関わる職を目指すならば、もっと機械織りについての知識もつけていくべきだと思う。また、授業のなかでは簡単にしか触れられていませんでしたが、繊維業界では織物の組織などの知識ももちろん重要だが、現場にいて感じるのは後加工の知識の重要性だ。アパレルブランドが目指す風合いにテキスタイルの提案側が近づけていくためには、加工に関する豊富な知識が必要だと思う。国内でどんな加工ができるのか、加工場さんはどんなところがあるのか、今の業界の加工のトレンドは何かなど学生のうちはあまりフォーカスが当たっていなかったが、この業界で働くためには組織や素材そのものの知識と同じくらい知っておいたほうが良いと思う。アパレル（特にレディース）はトレンドに左右され、素材単位で流行っているものの把握が必要だと思うので、せつかく業界にいる先生がいらっしゃるので学生も流行に敏感になれるような授業も必要だと思う。

⑤ \* 役立った授業と内容：バッグのデザインからプレゼンまでのプロセス、金属加工の技術、illustrator 及び photoshop の知識。

\* 授業科目の内容として不足していて具体的に授業を受けたかった科目や授業内容についての意見：バッグの構造を理解し、適切な型紙を作りと縫製技術を身に付けるための授業。

\* 今後必要と思われる授業名と内容：『型紙・縫製』本コースはバッグの製作本数が少なすぎると感じた。特に2年3年次では、デザインに時間をかけるよりも様々な構造のバッグを作り、縫製技術を学ぶことが重要であると考えます。学生に一からデザインさせると時間がかかってしまうため、学校側がバッグのサンプルを用意し、学生に同じモノを作るよう指示することによって、効率よく型紙作りと縫製の技術を身に付けていけると思う。

⑥ \* 役立った授業と内容：産学連携プロジェクト

企業と連携し、資材集めから販売までアパレル業界の一連の流れを経験できる内容。

\* 授業科目の内容として不足していて具体的に授業を受けたかった科目や授業内容についての意見：過去のコレクションだけでなく、現在どのようなコレクションがあってどのような流行があるのか詳しく知る授業を受けてみたかった。

\* 今後必要と思われる授業名と内容：特になし。

⑦ \* 役立った授業と内容：3年プレゼミ Tシャツ販売

\* 授業科目の内容として不足していて具体的に授業を受けたかった科目や授業内容についての意見：今の学年は学んでいるのかもしれませんが、Instagramのアルゴリズムだけでなく、画像の加工方法や TikTok を実際に編集してみたりするような授業があったらよかったです。また、発表や資料作りの機会は多かったのですが資料の作り方なども学べたらよかったです。

\* 今後必要と思われる授業名と内容：ワードは使う機会が多かったが、実際に働いてみて Excel を使う方が多いため、Excel で資料を作るような授業や関数だけでなく図の入れ方や見やすくするノウハウなども学べたらよいと思いました。また、やはり座学より実践した方が身に付くし、一人より複数人で行うものの方がより思い出しやすいので、グループワークなどを取り入れた実践的な授業は大事だと感じます。また、外国のお客が増えているので英語の授業は必要だと感じました。

⑧ \* 役立った授業と内容：衣装デザイン・制作、卒業制作…デザインのプロセスやリサーチの仕方を学べたこと

\*授業科目の内容として不足していて具体的に授業を受けたかった科目や授業内容についての意見：服飾造形の授業で習わなかったアイテム(パンツやジャケット等)、CAD… 私は在学時にパンツやジャケットの製図・制作やCADを他学にも通って学びました。習わなかったアイテムも基礎を知っておくことで、卒業制作や今後の制作活動に応用できると思います。また、卒業制作などで実際に作らなくても、知っておくだけでデザインの幅は広がるかと思えます。CADは(規模の小さい職場にいるからかもしれませんが)パタンナーの仕事をしていなくても基本的な使い方を知っておくことで役に立った場面がありました。また、個人的に制作している衣装制作にはCADが使えるととても便利だと感じています。表現学科でも上記の内容が必要ない方もいると思いますが、選択科目として学べると嬉しいです。

\*今後必要と思われる授業名と内容：PR…バレエの衣装の業界では大手ほど公演や発表会の裏方など現場に入る機会がほとんどありません。制作の効率やメンテナンスのしやすさが優先され、ダンサーが感じる扱いにくさがあまり改善されない印象があります。一方で個人でやっているアトリエは現場に入ってドレッサーやヘアメイクをされている方が多く、現場の声を反映して改良している印象があります。しかし、そのような小さいアトリエはPRに苦戦しており、あまりダンサーに知られていない印象があります。授業では販売知識やwebの作り方を学ぶことができましたが、企業がどのようなPRを行っているのか、PRに焦点を当てた内容も学べたらよかったです。

⑨ \*役立つ授業と内容：プレゼンテーション技法…人前で話すことに慣れることができたおかげで、社内の会議でたくさん発言でき、周りからの評価を得ることができた。

\*授業科目の内容として不足していて具体的に授業を受けたかった科目や授業内容についての意見：今のアパレル業界、世界情勢を学べる授業

\*今後必要と思われる授業名と内容：世界情勢を知ることのできる、時事的な授業アパレルと政治についてを学べる授業

⑩ \*授業科目の内容として不足していて具体的に授業を受けたかった科目や授業内容についての意見 スタイリング→映画を観て感想を書くことも良いが、もっと実践の授業が増えるといいと思った。

\*今後必要と思われる授業名と内容 特に無し

### 3. 教育課程の編成と教育方法について

\*教養科目の編成について

\*専門科目の編成について

\*改善に向けての提言(科目の過不足を含む)

\*その他の指摘、改善点

① \*教養科目の編成について：教養科目だけに偏らず、専門科目との両立が可能な編成だと思います。

\*専門科目の編成について：全ての専門科目で課題提出が可能なバランスの取れた編成だと思います。

\*改善に向けての提言(科目の過不足を含む)：国際関係と外国語の編成が多いように感じまし

た。英語を履修しましたが複数の英語の授業で同じ内容を学んでいたように思います。

\*その他の指摘、改善点：その他改善点はありません。

②\*教養科目の編成について；なし

\*専門科目の編成について：なし

\*改善に向けての提言（科目の過不足を含む）；なし

\*その他の指摘、改善点：なし

③\*教養科目の編成について：特にありません

\*専門科目の編成について；在学中にはなかった写真表現などの科目が入っているのがいいなと思いました。自分の製作したものを写真で表現する事はとても重要だと思います。

\*改善に向けての提言（科目の過不足を含む）：SNS を使った授業があると良いと思います。

\*その他の指摘、改善点：特にありません。

④ \*教養科目の編成について：私は外国語選択で一年次に中国語を選択していたが、今内容を振り返ると基礎的な単語などの学習はやってよかったがテキストの会話を通じて学習する部分では、もっとビジネスで実践できる内容になっていたらもっと興味も持てたし就職後も復習して応用できる有意義な授業になっていたと思う。また、社会人基礎が選択になっていたが、必修にするべきだと思う。早いうちから社会人のふるまいを知っていたら、就活で最初に躓き就活自体が億劫になってしまう人も減るのではないか。私も含め、他大学に比べ杉野の生徒はそういった基礎の部分が欠けており就活で苦労しているひとも多かった印象がある。就活ではアパレル業界を志していてもライバルは専門的でない一般大学の生徒のほうが多かったので、その部分への教育的なアプローチも必要だと思う。

\*専門科目の編成について：モノづくりを将来的にやっていきたい生徒も、必ずビジネスの知識が必要になるので、アパレル業界に関わらずもっとビジネスや経済についてを多角的に学べる授業を設け、どのコースの生徒も選べるようにしたほうが良いと思う。お金に関する視点をもっと学生の時に増やせればよかった。

\*改善に向けての提言（科目の過不足を含む）：地域の体験教室やワークショップでも学べるような初歩的な部分の学習で終わってしまう手芸関係の授業が多かった印象がある。もっと課題を出して応用までこなせるようなレベルまで到達できるような授業の編成でも良いと思う。

染色学の授業がいい例だと思うが、クリエイティブな技術を身につけるのとは別に、せっかく大学に通っているのに、一つなにかの事柄に特化し継続的に研究を行っている専門的な講師の行う授業がもっと増えるといいと思う。

\*その他の指摘、改善点：時代とともに授業の内容も変えていかなければならないと思う。

具体的に言うと、サステナブルに特化した専門科目があっても良いと思うし、CG 技術に関する授業は今やアパレル業界にはかなり重要で、illustrator などに並んで全員が必修で学ぶべき内容だと思う。また、テキストスタイルデザインコースの授業に限った話だが、実際に現場で働いている先生の授業は業界独特の専門用語が多く、就職したいま振り返ってみると意味も分かるし業界にでてからも役立つ内容が多かったと思うが、当時は単語の意味が分からず理解が追い付かなかったために内容に興味を持てなかったりしたため、学生の学習進度合わせた説明や理解しやすい単語の選択をしていただくことも、必要なのかもしれない。

⑤illustrator と photoshop の知識は、全コースを通しクリエイション作業をしていく上で非常に役立つと思うので、必須科目に組み込んでもいいのではないかと感じた。

⑥\*教養科目の編成について：いいと思う。

\*専門科目の編成について：いいと思う。

\*改善に向けての提言（科目の過不足を含む）：特になし。

\*その他の指摘、改善点：特になし。

⑦ \*教養科目の編成について：私はフランス語を履修していたのですが、販売員になってみて英語の必要性をすごく感じたので、もしできるのであれば英語は必修でも良いのかなと感じました。または、ほかの学年でも取りやすいように1年時に必ず取らなければならないではなく、4年間で外国語2単位以上取るなどでも良いのかなと思いました。

\*専門科目の編成について：特にありません。

\*改善に向けての提言（科目の過不足を含む）：ビジネスマナーなどを学ぶ機会がなかったので、そういったものも学べる授業があったらよかったです。

\*その他の指摘、改善点：講義が多いとあまり内容が入らなかったり、眠くなってしまうためただ一方的に話す講義ではなく、グループワークや発表、ディスカッション等を必ず取り入れてほしいと思いました。

⑧\*教養科目の編成について：語学が英語だけでなく自分で選択できることや、心理学など高校では習ってこなかった内容も学べるのが良いと思います。私の場合、特に語学以外の科目はファッションとの関わりがあまり感じられず単位のためにとったところもあるのですが、他の科目と関連があったり視野を広げるという意味でも受講できて良かったと感じています。

\*専門科目の編成について：制作する授業や歴史など知識を学ぶ授業など幅広く科目があるのは良いと思います。また、受け身になる授業ばかりでなく、自分でリサーチを行ったり試作するなど主体的に進める必要のある授業が多くあったのも良かったです。ただ、個人的には服飾学科の選択科目にも興味のあるものがあり、表現学科の必修科目や日野校舎への移動の関係でとれなかった科目があったのが残念でした。

\*改善に向けての提言（科目の過不足を含む）：特に専攻科目ではクラスの人数が少ないので、他学年と一緒に授業を受ける機会があれば、人数がいればできたことや先輩から学べることもあったのではないかと思います。

⑨\*教養科目の編成について：全体的に少なすぎるように感じる

\*専門科目の編成について：服飾表現学科は様々な分野を学ぶ機会があり十分に感じた

\*改善に向けての提言（科目の過不足を含む）：語学などももう少し時間を増やすべきだと感じる

⑩ 特になし

#### 4. 入学者受け入れについて

\*今後のアパレルの人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか

\*そのための方策案があればご助言ください。

①\*教養科目の編成について：教養科目だけに偏らず、専門科目との両立が可能な編成だと思います。

\*専門科目の編成について：全ての専門科目で課題提出が可能なバランスの取れた編成だと思います。

\*改善に向けての提言(科目の過不足を含む)：国際関係と外国語の編成が多いように感じました。英語を履修しましたが複数の英語の授業で同じ内容を学んでいたように思います。

\*どのような知識やスキルが今後必要になるとお考えですか：上記で述べたCG知識に加えSNS(インスタグラムやyoutube)を活用できるスキルが必要になるかと思います。

②\*今後のアパレル業界の人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか；課題がまにあわなかったり、製作をしていくうちに製作が苦になり単位が危なくなり卒業するのが目的になる人が多い気がします。なので、将来服に関係した職に就きたいと強く思っている人、製作すること自体が好きな人。

\*そのための方策案があればご助言ください。；高校時代の成績、内申点の基準をもう少し高くする。そうしたら、遅刻する人や学校を辞めてしまう人、製作課題を出せばいいだけの人が減るとおもう。

③\*今後のアパレル業界の人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか：自分で考えすぐに行動出来る人材が必要。行動量が未来への成功の鍵となってくると思います。

④ \*今後のアパレル業界の人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか：服が好きなだけ、アパレルを通してビジネスがしたいだけ、という入学の動機の二極化ではなくて、どちらもやりたい人が増えていけば、今よりも刺激的な学生生活になるし、積極性をもった人が多い学校になれば将来にむけてもっと考えやすい環境になるのではないかと。そういった生徒が出会いながっていけば、社会に出て人脈として機能し、結果的にアパレルの業界も革新されいい影響が生まれると思う。

\*そのための方策案があればご助言ください。：服が好きな人、服で夢を叶えたい人が集まるという一般的な服飾学校のぼやけたイメージとは異なる募集の仕方をする

⑤\*今後のアパレル業界の人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか：バッグ業界では、職人の高齢化が問題となっている。業界のためにも職人を目指す若い人材を積極的に受け入れて欲しい。

\*そのための方策案があればご助言ください。：授業での靴企業の見学、インターン制度の設置。

⑥ \*今後のアパレル業界の人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか：ファッションが好きなのはもちろんだが、個性が強すぎる人達ばかりでなく、柔軟に沢山のことを吸収できるような人。

\*そのための方策案があればご助言ください。：ファッション以外に好きなことや趣味、特技があるかどうか聞いてみるのがいいと思う。ファッション以外にも幅広く視野を広げられている人は沢山のことを吸収しようとする人だと思うから。

⑦\*今後のアパレル業界の人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか：今まで通り、アパレル、ファッションが好きなことが第一だと思います。また、アパレル業界は離職率も高いようなので、私も実際に店頭に立って感じましたが、忍耐力や根気強さも必要だと思います。

⑧\*今後のアパレル業界の人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか：大学卒業後にやりたい事や目標が明確な人を受け入れるべきだと思います。将来の目標が明確な人ほど授業



への姿勢や課題に取り組む際のモチベーションが高いように感じました。また、学外での活動においても、卒業後にも必要となるような経験を積んでいる人が多いと感じました。

\*そのための方策案があればご助言ください。:入試に際に「意欲的に取り組んだこと」について聞いていると思うので、今後も続けていくのが良いと思います。

⑨ \*今後のアパレル業界の人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか:主体性があり、アパレル以外についての知識を学ぶことにも前向きな人

\*そのための方策案があればご助言ください。:試験課題でレポートを提出させる

⑩特に無し

## 5. コロナ禍を受けて今後の人材に必要なこと

### \*どのようなスキルが今後必要になるとお考えか

①アナログで基礎を学びデジタルに強い人材を育成することが必要になってくるかと思います。デザインやパターンの基本は紙に書き、それらをデジタルに変換させることができればデジタル化が進むアパレル業界で活躍していけるのではないのでしょうか。

②\*どのような知識やスキルが今後必要になるとお考えですか。:工場などの規模ではなくネットを使い個人間での縫製依頼が増えているため、1人でパターン、裁断、縫製、仕上げなど一通りできる知識と技術が必要だとも思う。

③ \*どのような知識やスキルが今後必要になるとお考えですか;私は個人で子ども服の製作、販売とオンライン子ども服講座の運営をしています、技術はもちろん必要になってくると思いますが、やはり SNS が重要になってきているので私はそこも重点的に学んでいく必要があると思います。会社勤めのデザイナーさんやパタンナーさんには必要のないスキルになってくるかもしれませんが、個人や起業、フリーランスでやっていく方には絶対に必要だとも思います。

④ \*どのような知識やスキルが今後必要になるとお考えですか:CGなどの最新ソフトを使用できたり、業界関係なくビジネスの仕方を考えられる人が求められていると感じる。また、国内の工場などは働き手が減っており危機的状況なので、産地で様々な世代の人と一緒に働くことのできるコミュニケーション力と心身共に体力にある人材は特に求められていると思う。

⑤コロナ禍を受けて後は年々ECサイトで商品を購入する人が増加していくと思われる。そのため、SNSを利用しPR活動を行うことのできるマーケティング力のある人材が求められていくだろう。

⑥\*どのような知識やスキルが今後必要になるとお考えですか:コロナ前と特に変わらないと思う。しかし、デジタル化がすごく進んでいるからデジタルに強くなることは損にはならないと思う。

⑦\*どのような知識やスキルが今後必要になるとお考えですか:リモートなどは減りましたが、SNSやバーチャルなどが成長していく中で、目に見えていない相手のことも考えられるスキルは必要なのではないかと考えています。

⑧\*どのような知識やスキルが今後必要になるとお考えですか:主体的に行動できることや分からないことをその場で解決できるかが大切になってくるかと思っています。職場の先輩からオンライン授業を経験している世代は受け身の姿勢が強い印象があると言われたことがあります。言われた

ことを正確にこなすことはもちろん、主体的に行動することやコミュニケーションの必要性を感じました。また、コロナ禍を受けて私の職場では在宅や外注に切り替えてお仕事を継続されている方がいます。毎日合わない人との仕事を円滑に進めていく上で、授業でのグループワークの経験が役立っている部分もありますが、授業内で終わらなかった所はLINEで連絡を取ろうという流れが多くありました。お仕事の場合はその時ほど頻繁に連絡を取れるわけでもないのに、いかに授業内で進められるか、先を見通して次の授業までにやる事が整理できているかが重要になってくると思いました。先生方も授業外で対応して下さりとてもありがたかったのですが、分からない所はできるだけ授業内で解決しておく意識を持つことが必要だと感じています。

⑨広い視野を持ち、世界（社会問題、環境問題など）を考えられる人

⑩変化への柔軟性や、広い視野をもったグローバルな感覚のある人材。

語学力はとても重要なスキルであると考えます。

## 6. その他

① 在学中にコロナ渦の影響で ZOOM や google クラスルームなどのWEBサービスを使用した授業がありました。当時は環境に対応しきれず回線遅延や提出課題の期限設定等で満足のいく授業が受けられないこともあったため、遠隔授業をスムーズに受けられる仕組みがあると良いと思いました。

②移動が多くて距離も長くて荷物も多いので、少し荷物を置いておける場所や作品を綺麗に保管出来る所を増やしてほしいです。

③なし

④就活の際に他の服飾専門学校はもちろん、一般他大学の生徒とも肩を並べ競い合えるような学びができれば良いと思います。

⑤なし

⑥なし

⑦なし

⑧卒業後は検定など資格の有無よりもこれまでどのような事を学び、経験してきたかが重視されるように感じています。職場で教えてもらう事も多いので、在校生には色々なことに興味関心を持って経験してほしいと思います。

⑨なし

⑩なし